# 支部だより

## 正味財産増減計算書

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで　(単位：円)

| 勘定科目 | 本年度決算額 | 前年度決算額 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ．経常収益 | | | |
| ①受取会費 | 17,635,000 | 17,383,800 | 251,200 |
| 普通会員会費収入 | 14,010,500 | 13,660,300 | 350,200 |
| 特別会員会費収入 | 3,301,000 | 3,416,000 | △ 115,000 |
| 賛助会員会費収入 | 323,500 | 307,500 | 16,000 |
| ②寄付金品等収入 | 812,900 | 43,366,550 | △ 42,553,650 |
| ③雑収入 | 508,263 | 299,173 | 209,090 |
| 経常収益計 | 18,956,163 | 61,049,523 | △ 42,093,360 |
| Ⅱ．経常費用 | | | |
| ①事業費支出 | 21,859,411 | 21,589,960 | 269,451 |
| ②管理費支出 | 7,178,041 | 13,134,376 | △ 5,956,335 |
| 経常費用計 | 29,037,452 | 34,724,336 | △ 5,686,884 |
| 当期経常増減額 | △ 10,081,289 | 26,325,187 | △ 36,406,476 |
| 一般正味財産期首残高 | 169,723,696 | 143,398,509 | 26,325,187 |
| 正味財産期末残高 | 159,642,407 | 169,723,696 | △ 10,081,289 |

### 北海道遠紋地区支部

## 令和元年春季青少年善行者表彰状伝達式の開催

令和元年春季青少年善行者表彰状の伝達式を五月三十日遠軽町教育委員会会議室で開催しました。

最初に北海道遠紋地区支部長より、令和元年春季青少年善行者表彰受賞おめでとうございますとの挨拶がありました。今回の受賞は町内小、中、高等学校六校で「公共生活への貢献」活動に寄与された遠軽町立遠軽小学校金管バンド、遠軽町立東小学校吹奏楽部、遠軽町立南小学校金管バンド、遠軽町立遠軽中学校吹奏楽部、遠軽町立南中学校吹奏楽部、北海道遠軽高等学校吹奏楽部です。

受賞の内容は、遠軽町開基祭音楽パレード、がんぼう夏祭り吹奏楽パレード、また「町民音楽祭」への参加、地域住民、PTAを招いて定期演奏会の開催等、吹奏楽の奏でる町づくりに貢献したものです。

また、遠軽高等学校ボランティア部インターアクトクラブは、平成二十一年旧遠軽町立遠軽郁凌高等学校を遠軽高等学校に統合、生徒会活動の一環として三十二年間継続活動してきた交通安全奉仕活動「無事カエル」運動を遠軽高等学校ボランティア部インターアクトクラブが継承、赤い羽根募金街頭啓発運動、薬物乱用キャンペーン運動、社会福祉団体等の各種行事へ積極的に参加、活動したことが認められたものです。

### 青森県弘前支部

## 令和元年度春季・特別善行表彰伝達式と祝賀会の開催

日本善行会弘前支部(本間支部長)は六月五日、弘前市のホテルニューキャッスルで平成三十年度春季・特別善行表彰伝達式を行い、同支部管内の春季受賞者一団体と銀章受賞者一個人に表彰状などを授与して栄誉をたたえた。

終了後は、祝賀会が行われ、和やかな内に終了した。

### 群馬県北毛支部

## 令和元年度定期総会並びに特別善行表彰金章・銀章の伝達式の開催

令和元年度定期総会並びに特別善行表彰金章・銀章受賞者に対する伝達式を会員四十七名の出席のもとに、去る六月二日(日)渋川市伊香保町所在の「ホテル松本楼」において開催しました。

定期総会に先立ち、去る五月十八日、明治神宮参集殿において特別善行表彰金章・銀章を受賞した六名に対し島村支部長からその功労をたたえ、会員に披露すると共に、支部記念品を添えて伝達を行いました。

総会は、島村支部長の挨拶に続き、本部勝野堅介会長の祝電披露があり、平成三十年度の事業報告・収支決算報告、監査報告が行われ、原案通り決議・承認されました。

本年度から顧問一名をもうけ、支部長一名、副支部長五名、監事二名、会計書記二名、理事十五名と体制を強化して、会員総数百三十五名がよりしっかりした活動が出来るよう強化を図りました。

続いて、令和元年度の事業計画案並びに収支予算案の審議に入り、支部創立以降継続している「児童養護施設への慰問・寄贈」、「チャリティーゴルフコンペの開催」、「隠れた善行表彰該当者の発掘」、「花いっぱい運動」、「無事カエルの交通事故防止マスコット作成配布」、「防犯パトロール」等の実施について、全員一致で決議・承認されました。

総会終了後、同ホテルにおいて祝賀・懇親会を行い、受賞者から「今回、受賞を受け、善行を継続してきて心から良かった。身に余る思いで大変嬉しいです。今後も継続していきたい。」などの感想を頂くとともに情報交換、融和親睦を深め合いました。

又、翌日の三日には、愛好者三十名が参加したゴルフコンペを行い、会員間の絆を強くしました。

### 大分県大分支部

## 好評！講演 スーパーボランティア 尾畠春夫さん「日本善行会」

### ＝尾畠春夫さんをもっと知りたい・学びたい＝

三月十五日「尾畠春夫さん日本善行会」の演題で、講演会を開催しました。テレビで知る尾畠さんは、実際にはどんな人なの？という疑問に直接お会いした人から人物像について話を聞きたいという要望が、地域の高齢者サロン「ひだまりの会」から大分支部へ依頼されました。講演の趣旨は、尾畠春夫さんの崇高な奉仕活動を讃えると共に、日本善行会についての紹介を含め約一時間行いました。伝承者は大分支部長松井猛です。会場は満席状態になり、自治会長や尾畠さんの登山仲間も出席し会場は活気に溢れていました。

講演の前半は、尾畠春夫さんをもっと知りたい、学びたいをテーマに、尾畠さんの生い立ちを紹介。

小学校五年の時、母親急死の為、七人兄弟の中で尾畠さんのみが奉公に出され、不遇な少年時代を過ごし、慣れない都会(東京)へ出稼ぎに出て土木作業員(とび職)に従事し、資金を貯めて魚屋になる夢を叶え五十年間真面目に働き、六十五歳で鮮魚店をきっぱり辞め、これまで世話になった社会に恩返しをと、ボランティア活動を始めた経緯を紹介しました。

### 尾畠春夫さんの超越した奉仕精神に学ぶ

＊〝尾畠流〟の奉仕精神とは、揺るがない強い目的意識(謙虚に他人の為に行動)

＊見栄、プライドを捨て、誰かのために無心に奉仕する(利他的行動)

(見栄、プライドの高い人は、周りのことなどお構いなしに行動し、他人を犠牲にしてでも自分が生き残ろうとする人)

＊尾畠さんは、ボランティア活動で見返りを一斉求めず行動できる人(無償の愛)

後半は日本善行会の存在と基本理念、八十余年の歴史と事業内容、大分支部の紹介等行う中、尾畠さんのボランティア精神と日本善行会の理念が合い通じるものがあり、善行会への理解も深まったように思えました。この講演の反響により、六月に市内の公民館からまた同じテーマでの講演依頼があり、今後も尾畠さんの〝崇高な奉仕の心〟を讃えながら、日本善行会の啓発活動に微力ながら取り組んで参ります。

## 善行川柳

選者　東　逸平

○ツイートで　救護者捜す　消防署
東京都　神鳥谷知己

評／災害ニッポンと言っては叱られますが、風水害、原子力禍に多くの命が失われ今もなお、多くの人達が避難先で救護を待っています。ツイートで救護の手を待つ状況を斬新な手法で良く表現しています。世の先端事象を書き上げた作者の新感覚は「川柳」としても上出来。善行川柳としては最高レベルです。

○花びらに　春の光が　透けて見え
静岡県　真野　和代

評／いつもながら俳句の調べが漂ってきますね。これに善行の影らしきものがあると良いですね。

○介護する　我とてやがて　その身かも
香川県　丸野　忠義

評／作者も選者もその通りかも。介護者の数がどんどん減ってきて、施設介護サービスも在宅介護サービスも簡単に受けられない時代になってきました。寿命１００年時代は、健康で介護不要の時代でありたいですね。ほかに5作品が寄せられていますが、どの句もとても良いですよ。

○古切手で　社会福祉に　お手伝い
大分県　佐藤　満洋

評／使用済み切手をはがす作者の温かい心が伝わってきます。忘れ去られるくらいの小さな善行が大事ですね。